



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社  
コード番号 2533 URL <http://www.oeonon.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 幸夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	18,091	0.6	253	36.3	241	16.4	103	173.9
24年12月期第1四半期	17,992	4.8	185	31.9	207	46.2	37	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 240百万円 (53.0%) 24年12月期第1四半期 157百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	1.65	—
24年12月期第1四半期	0.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	55,315	20,192	32.5
24年12月期	59,827	20,474	30.4

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 17,973百万円 24年12月期 18,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	—	—	7.00	7.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,000	1.7	1,350	11.8	1,300	10.4	600	7.7	9.56
通期	87,000	1.9	2,950	3.2	2,800	1.0	1,300	3.9	20.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	65,586,196 株	24年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	2,829,595 株	24年12月期	2,823,701 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	62,758,700 株	24年12月期1Q	65,266,764 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

○第1四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年1月1日から3月31日)におけるわが国経済は、政権交代による経済政策への期待感などから、株式市場も活性化を呈すなど、回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー価格の上昇懸念や為替レート的大幅な変動など、先行き不透明な状況が続いております。

酒類業界におきましても、ここ数年続いている消費者の節約志向や低価格志向に加え、原材料価格や原油等のエネルギー価格の不安定さなどが収益に影響を及ぼす厳しい経営環境となっております。

このような経営環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は、18,091百万円(前年同期比0.6%増)と過去最高となりました。

利益面では、原材料価格等の上昇があったものの、販売費及び一般管理費の低減等により、営業利益は253百万円(前年同期比36.3%増)、経常利益は241百万円(前年同期比16.4%増)と増益となり、四半期純利益については103百万円(前年同期比173.9%増)と過去最高となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

**【酒類事業】**

酒類事業については、お客様起点の発想に立った商品開発を第一に考え、「安心」・「安全」が評価されているプライベートブランド商品(PB商品)についても積極的に展開いたしました。酒類事業合計の売上高は15,609百万円(前年同期比1.4%減)となりました。利益面につきましては、原材料価格等の上昇があったものの、販売費及び一般管理費の低減等により、営業損失は62百万円(前年同期は116百万円の営業損失)と改善いたしました。

酒類事業のうち焼酎においては、甲類焼酎がPB商品を中心に好調に推移いたしました。乙類焼酎の減少により、焼酎全体の売上高は8,313百万円(前年同期比1.6%減)となりました。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、アルコール分控えめの「カクテルタイム」や「ほろっと」のラインアップ強化等を図った結果、売上高は1,442百万円(前年同期比0.8%減)と前年同期並みに推移いたしました。

清酒においては、市場が縮小傾向にある中、値頃感のある紙パック商品が堅調に推移したものの、売上高は1,816百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

合成清酒においては、主力の「元禄美人」を中心に、業界トップシェアを維持したものの、需要の減少により、売上高は816百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

アルコールにおいては、甲類焼酎や清酒等に使用される酒類原料用アルコールが増加したため、アルコール全体の売上高は1,466百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

洋酒では、梅酒において、しそ焼酎「鍛高譚(たんたかたん)」と同じ原料を使用した「鍛高譚の梅酒」が、平成23年の発売以来、好調に推移し前年同期を上回っております。しかしながら、紙パック商品等の減少等により、梅酒全体の売上高は前年同期と比較して減少いたしました。

ワインにおいては、手軽な値頃感のある商品や国際的なコンクールでメダルを受賞したワインなどが好調に推移したため、ワイン全体の売上高は前年同期と比較して増加いたしました。

その他の洋酒においては、PB商品のウイスキーが好調に推移したため、売上高は増加いたしました。

その結果、洋酒全体の売上高は1,390百万円(前年同期比8.9%増)となりました。

その他については、飲食店等の売上が減少した結果、売上高は264百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

**【加工用澱粉事業】**

加工用澱粉事業については、ビール用や菓子用コーングリッツは増加したものの、シリアル食品用コーングリッツ等の減少により、売上高は968百万円(前年同期比2.5%減)となりました。また、原材料価格等の上昇により、12百万円の営業損失(前年同期は66百万円の営業利益)となりました。

**【酵素医薬品事業】**

原薬では、ジェネリック医薬品原薬の高脂血症治療用原薬が伸張したものの、糖尿病治療用原薬が伸び悩んだため、売上高は減少いたしました。

診断薬では、便潜血検査試薬等の減少により、売上高は減少いたしました。

しかしながら、酵素では、乳糖分解酵素(ラクターゼ)が乳製品の甘味やなめらかさを向上させる効果も評価され、海外における販売が大幅に増加したため、酵素医薬品事業全体の売上高は1,096百万円(前年同期比34.0%増)、営業利益は329百万円(前年同期比87.1%増)と過去最高となりました。

**【不動産事業】**

不動産事業は、賃貸借契約の減少があったため、売上高は96百万円(前年同期比4.0%減)となり、営業利益は69百万円(前年同期比2.8%減)となりました。

**【バイオエタノール事業】**

バイオエタノール事業については、販売数量の増加により、売上高は304百万円(前年同期比28.9%増)と増加いたしました。一方で利益面では、原料米単価の高騰及び販売単価の低下が大きく影響し、73百万円の営業損失(前年同期は13百万円の営業損失)となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、55,315百万円となり、前連結会計年度末と比較し4,511百万円の減少となりました。これは主に季節要因による売上高の減少により、受取手形及び売掛金等が減少したことによるものであります。

負債につきましては、35,123百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,229百万円の減少となりました。これは主に未払酒税及び未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、20,192百万円となり、前連結会計年度末と比較して282百万円の減少となりました。これは主に剰余金の配当によるものであります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

通期及び第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては平成25年2月8日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更に伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,572	1,299
受取手形及び売掛金	23,655	17,789
有価証券	—	2
商品及び製品	6,459	7,188
仕掛品	336	431
原材料及び貯蔵品	1,254	1,689
繰延税金資産	833	761
その他	890	830
貸倒引当金	△40	△22
流動資産合計	34,962	29,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,349	25,416
減価償却累計額	△16,728	△16,885
建物及び構築物(純額)	8,621	8,530
機械装置及び運搬具	30,695	30,812
減価償却累計額	△26,815	△27,046
機械装置及び運搬具(純額)	3,880	3,766
その他	2,395	2,377
減価償却累計額	△2,060	△2,082
その他(純額)	334	295
土地	8,835	8,835
建設仮勘定	416	971
有形固定資産合計	22,089	22,400
無形固定資産		
のれん	519	504
その他	499	476
無形固定資産合計	1,018	981
投資その他の資産		
投資有価証券	1,119	1,332
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	251	250
その他	403	405
貸倒引当金	△17	△24
投資その他の資産合計	1,757	1,964
固定資産合計	24,865	25,346
資産合計	59,827	55,315

オエノンホールディングス(株)(2533)平成25年12月期第1四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,726	6,603
短期借入金	880	1,720
リース債務	61	61
未払金	4,591	3,937
未払酒税	9,971	6,841
未払法人税等	1,021	74
賞与引当金	58	422
役員賞与引当金	51	12
設備関係支払手形	453	445
その他	1,283	1,038
流動負債合計	25,100	21,156
固定負債		
長期借入金	9,020	8,620
長期預り金	3,306	3,386
リース債務	94	78
退職給付引当金	1,244	1,229
資産除去債務	135	135
繰延税金負債	306	386
その他	144	129
固定負債合計	14,252	13,966
負債合計	39,352	35,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	6,147	5,811
自己株式	△559	△561
株主資本合計	18,110	17,773
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61	196
繰延ヘッジ損益	12	3
その他の包括利益累計額合計	74	200
少数株主持分	2,289	2,218
純資産合計	20,474	20,192
負債純資産合計	59,827	55,315



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	17,992	18,091
売上原価	14,721	14,869
売上総利益	3,270	3,222
販売費及び一般管理費	3,085	2,969
営業利益	185	253
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
受取賃貸料	19	18
為替差益	12	9
負ののれん償却額	40	0
雑収入	18	16
営業外収益合計	95	49
営業外費用		
支払利息	65	51
雑損失	8	9
営業外費用合計	73	61
経常利益	207	241
特別利益		
固定資産売却益	—	8
受取補償金	102	—
負ののれん発生益	—	23
その他	0	3
特別利益合計	102	35
特別損失		
固定資産除売却損	4	6
減損損失	79	—
その他	0	0
特別損失合計	83	6
税金等調整前四半期純利益	226	270
法人税等	170	159
少数株主損益調整前四半期純利益	56	111
少数株主利益	18	8
四半期純利益	37	103

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56	111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	88	138
繰延ヘッジ損益	12	△8
その他の包括利益合計	100	129
四半期包括利益	157	240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	137	229
少数株主に係る四半期包括利益	20	11

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,833	993	818	100	235	17,981	10	—	17,992
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	—	—	—	0	—	△0	—
計	15,834	993	818	100	235	17,982	10	△0	17,992
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△116	66	176	71	△13	183	2	—	185

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	バイオエ タノール	合計			
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,609	968	1,096	96	304	18,075	16	—	18,091
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	1	—	—	—	1	—	△1	—
計	15,610	970	1,096	96	304	18,076	16	△1	18,091
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△62	△12	329	69	△73	250	2	—	253

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。